

特集 小平団地の自治会活動と居場所づくり

小平団地に今年1月、自治会の20年来の要望が実って『ふれあいカフェさざんか』がオープンしたと聞き、片岡規子さん（代表幹事）、カフェ担当の畑中房子さん（福祉部長）、林美奈子さん（副代表幹事）にお話を伺いました。



小平市のほぼ真ん中に位置する小平団地は、UR都市機構（旧住宅公団）の賃貸住宅で、約1700世帯を抱える大きな団地です。1965年に入居が始まり来年50周年を迎えます。お話を伺ったお三方とも最初からの入居者で、共に年月を過ごしてきたお仲間とのことでした。

■団地住民の親睦と交流の場を

そもそも、団地内で“居場所”と言われるものを考え出したきっかけは、30周年記念セミナーの後日談の中から。その前段の20周年（1985年）の際に、『高齢化社会をミドルエイジから考える』という、現在の超高齢社会を先取りしたタイトルで連続セミナーを開催し、地域活動の大切さを学んだ素地がありました。そしてその時には関心のなかった世代からの強い要望を受けて30周年記念企画を実施、その際学習ばかりでなくお茶とお菓子での世間話も大切にしたいところ、それが好評。「では！」と先進事例を見学し、1997年に団地内の集会所を借りて毎月第1土曜日に『ふれあい喫茶ゆうらうんじ』をオープンさせました。当初は珈琲、紅茶、煎茶のみでしたが、次第にご飯類やケーキも加わり、今では開店前に行列ができるほどで、年間1,500人を越える利用者がいるそうです。

その後2011年には『居酒屋さざんか』をオープン、毎月第2金曜日の夜7時から9時まで集会所を利用して開店、ワンコイン（500円）の会費で絶品のおつまみとともに楽しいひとときを過ごせると好評だそうです。

そしてこのたびの『ふれあいカフェさざんか』は常設の憩いの場所、日曜祝日以外は10時から16時まで開いています。自治会ではコミュニティ形成の場の設置を長年UR側に要望し続けていましたが、たまたま昨年5月に団地内のお米屋さんが閉店することになり、その空き店舗を利用する話が急ピッチで進み、年明けにめでたくオープンしました。カフェは明るい色使いの内装と、靴を脱がなくても入れるバリアフリー、なるべく多くの方が利用し話が弾むようにと丸テーブルが5台、禁煙禁酒は勿論、囲碁・将棋・麻雀もナシ、UR側が予定していたテレビの設置も断ったそうで、“語りあい触れ合う場になりたい”という強い思いを感じました。1日平均40人前後の利用があり、「誰かに会える」「一人でもゆっくりできる」など好評のようです。この場ができたことで、特に高齢の一人暮らしの男性の姿を見かけるようになったそうです。

常設ともなると運営する人手の確保が問題

ですが、住民に協力スタッフを募り、約20人が2交代制で常時3～5人で担当。無償ですがボランティアする側にとっても生活のハリになっているとのことでした。「居心地の良い空間作りのために心がけていることは？」とお聴きしたところ、「関わっている人たち自身が楽しんでやることね、それがさらに人の輪を広げていく。」と仰っていました。「50年なんて早いね。大変だったけどよくやってきたよね。」とうなずき合う三人の笑顔が印象的でした。

■活発な自治会活動の陰には

現在、小平市内には380余りの自治会がありますが、加入率は全住民の約4割を切り、年々減少傾向にあるとのこと。そんな中、小平団地の自治会が加入率約6割で活発な活動が行われている陰には、役員の地道な努力があることがわかりました。その大きな要となるのがほぼ毎週発行している「さざんかニュース」。これを加入の有無に関わらず全戸配布して意思の疎通を図ったり、年2回未加入のお宅を訪問して入会のお誘いを行ったり、住民同士のつながりを作るために四季を通じて色々な集まりを企画しています。また2010年には、高齢化と一人住まいへの対策として「助け合いの会」をスタートさせ、住民同士が助け合うという安心と信頼のもとに活動する仕組みを作りました。UR側で3年ごとに行っている住民アンケートも、役員が手間をかけて回収する努力が実り、回収率80%は全国トップレベルとのこと。それもこれも自治会運営に熱意を持つ人が継続的に役員として関わっていく体制ができていから可能なのでしょう。

最近“コミュニティ”という言葉が盛んに使われていますが、人と人との関係を紡いでいくのは言うほど簡単なことではないでしょう。自治会に入らない転入者、高齢化する地元住民、個人情報への壁など難しい課題が多いようですが、“いつまでも安心して長く住み続けられること”はどこの自治会にも共通の願い。居場所づくりはさておいても、小平団地の活動にはこれからの自治会活動のヒントがあるような気がしました。

（取材：藤原、田原 文責：田原）

ふれあいカフェさざんか

場所：小平団地2街区郵便局隣り
利用時間：10～16時（日曜祝日は休み）
利用料：無料、団地居住者優先
飲み物：珈琲、紅茶、煎茶 各100円
管理運営：小平団地自治会 ☎042-321-9436



*「さざんか」は、自治会結成総会の時（1965年11月3日）さざんかが大変美しく咲いていたことに由来。